

# 一般社団法人京知恵産業創造の森 令和6年度事業計画

本法人は、知恵の交流と融合により新たな価値の創造を図るとともに、産業施策を戦略的に推進し、京都経済の発展と活性化に資することを目的に設立され、5年が経ちました。この間、交流と協働による新たな価値創造の推進に関する事業や産業人材の育成支援に関する事業、産学公連携の推進やスマート社会等の実現に関する事業、さらにはスタートアップの創出及び成長支援の推進に努めてきました。

本法人の令和6年度については、この5年間の実績を踏まえ、これからの京都経済の発展と活性化に求められる、ニーズに合ったより実効性のある事業に取り組んでまいります。

まず、交流と協働の象徴である KOIN の活用促進については、若年層を中心とした利用者間のコミュニティ形成に寄与する事業を引続き実施するとともに、他の産業支援機関、金融機関等との情報共有や連携を行い、次代の京都産業を担う人材を育成するための支援プログラムやセミナーを実施してまいります。

スマート社会の推進については、中小企業等に対して、製品化やエネルギーコスト削減、IoT や AI 等の先端技術等を活用した生産性の向上等につながるDX(デジタル・トランスフォーメーション)化への支援を行うとともに、脱炭素経営の裾野をさらに広げ、産業支援機関とのネットワークを強化してまいります。

産学公連携の推進については、オール京都の産学公金のネットワークを活かし、出口重視(事業化やスタートアップ創出等を意識した産学連携支援)の観点も踏まえ、オープンイノベーションの更なる推進、大学が実施している地域連携への支援、関係団体との連携による情報交換、情報発信に資する取組を進めてまいります。

スタートアップの推進については、文部科学省等の国の施策も活用し、スタートアップの創出やグローバル展開を目指すスタートアップへの支援等に取り組むことで、スタートアップの成長ステージに即した支援策が提供できるエコシステム構築に向けて、京都スタートアップ・エコシステム推進協議会構成団体や、大阪、兵庫等のエコシステムコンソーシアムと連携しながら取組を推進してまいります。

各部門が部を横断して連携しながら、法人全体で一丸となり、イノベーションが生まれる場、機会の創出や学生、社会人、中小事業者等、本法人に集う様々な人の「チャレンジしたい」という熱い気持ちに寄り添い、支援してまいります。

## 1 産業人材の育成支援に関する事業

### (1) 産業人材育成に係る企画、運営

多様な機関が実施する研修等の人材育成事業と、情報共有や連携を図るとともに、特に、重点分野の研修・セミナー等を企画・運営し、オール京都で次代の京都産業を担う人材を育成する。

### (2) 多様な主体との連携による効果的な人材育成の推進

他の産業支援機関や教育機関、金融機関等と連携し、次代の京都産業を担う人材の育成を効果的に推進する。各団体が関係する多様なステークホルダーのニーズに合った人材育成プログラムに導くことで、相談フェーズに適したサポートを提供する。

## 2 交流と協働による新たな価値創造の推進に関する事業

### (1) オープンイノベーションカフェ「KOIN」の運営

#### ① 「KOIN」のブランド強化

「KOIN」のブランド強化に向け、学生や大多数を占める中堅・中小企業などへの認知度向上に取り組むとともに、各事業を通じて「KOIN といえば……」という確たるイメージの構築を図る。また、利用者の満足度を高めることで、KOIN への愛着を高め、利用者が新たな利用者呼び込むような仕組みの構築を図る。

#### ② 多様な人々によるオープンイノベーションカフェ「KOIN」のさらなる活用促進

若手起業家や学生、研究者、クリエイティブ分野に携わる人材など、若い世代を中心に多種多様な人々の利用を促進するため、多彩なテーマでイベントや交流会等を開催する。

また、KOINに学生が集う仕掛けを強化するなど、“京都で何か始めたい”と考える若年層の利用者獲得と、利用者間のコミュニケーション拡充を目指す。合わせて、利用者や支援機関等の交流と協働による幅広い KOIN コミュニティの形成を図る。

#### ③ SNS等を活用した情報発信の強化

KOIN での取組や、新事業創出に関する情報を発信するとともに、利用者やイベント参加者の取組や成果、商品・サービス等の情報発信機能を強化し、交流と協働の拡大、深化を図る。

また、WEB や SNS、会報、展示・PRブースなど様々なメディアを活用し、京都産業の多様な魅力や企業の強みなどを幅広く発信するとともに、事業実践やテストマーケティング支援などの事業を通じて、京都産業及び企業のプロモーション・魅力発信を図る。

#### ④ ネットワークを活用した起業支援の充実

産業支援機関やコワーキング施設運営者、金融機関等、起業のエコシステムを構成する団体とスタートアップ等を結びつけるハブとしての機能を果たすとともに、京都経済センター入居団体をはじめとする多様な支援機関等とも連携しながら、起業アイデアの発案から計画策定、事業化まで一貫した支援体制を構築する。

### (2) 起業やスタートアップの発掘・育成と事業展開に向けた支援

オープンイノベーション手法による新事業創出等、若い世代の新たなチャレンジを支援するとともに、起業や社会課題解決など、KOIN に寄せられる多様な相談の受け皿となる各種相談窓口を設け、幅広い相談ニーズに対応する。

また昨年度に引き続き、学生の起業実践を支援する「ビジネス実践ラボ」や、ビジネスにおいて0から1を生み出す力を養うプログラムや、創業初期段階のチャレンジショップ企画「KOIN マルシェ」を継続・強化して実施する。

### 3 スマート社会の実現に関する事業

#### (1) スマート産業関連の生産性向上

スマート社会実装化促進事業等を通じて、エコ・エネルギー分野の推進やIoT・AIを活用してイノベーションを図る中小企業の支援を行うとともに、京都スマートプロダクト認定製品・サービスについては、企業の情報発信・販路開拓等の支援を強化する。

#### (2) 中小企業等のDX化、省エネ・節電対策

- ① 中小企業のさらなる産業活性化、生産性向上につながるDX化の促進を支援する事業や、事業者向け自立型再エネ設備等の設置を助成する事業をオール京都で展開するとともに、中小ものづくりDX推進アドバイザーの派遣等、専門家による診断事業を充実させる。
- ② 中小企業が行う省エネ設備改修に要する経費の一部を補助することで、省エネ・節電を通じた、温室効果ガス排出量の削減をめざす。

#### (3) スマート産業に関わるネットワーク形成

京都エコ・エネ交流クラブ会員やエコ・エネルギー関連及びDX関連事業者とのネットワークの形成、京都府内の中小企業等支援機関との事業の共同実施や広報の連携等の強化を行う。

### 4 産学公連携の推進に関する事業

#### (1) 産学公連携によるオープンイノベーションの推進

##### ① 産学公連携の機会創出

企業と大学を、企業側から及び大学側からの双方向で結び付ける相談窓口を設置・運営するとともに、令和5年度に続き、企業の研究開発・協業ニーズ発表会「Open Innovation Showcase in KYOTO」を京都商工会議所との連携、京都工業会の協力により実施し、大学・企業等のマッチングを支援することなどにより、産学公連携・オープンイノベーションの推進に繋げる。

##### ② 産学公連携による研究開発の事業化支援

令和5年度に続き、大学等(若手研究者など)の事業化・出口を意識した研究開発について助成金の交付などにより支援を行うことで、新しい社会的価値の創出につなげていく。

また、主としてディープテックなど理系分野における研究成果の起業・事業化への相談に対応するための専門家による研究者向け起業相談窓口を設置するとともに、起業・事業化を目指す大学研究者に特化したネットワーキングコミュニティの形成を目的とするイベントを開催することで研究シーズの社会実装化を促進していく。

#### (2) 地域連携への支援

令和5年度に続き、地域連携を効果的に実施するための大学・学生への助成を行う。地域の課題解決や

地域活性化に向けては中長期の視点での取組も求められるため、令和5年度に助成した事業も助成対象とすることで、持続可能な地域連携への取組を支援する。

### **(3) 関係団体との連携による情報交換、情報発信**

国機関・府・市をはじめとする産学公連携支援施策等の情報発信をはじめ、京都産学公連携プラットフォーム会議の参加団体を中心に交流の機会を設けることにより相互の情報交換を促進する。

更に、KOIN を活用して大学等が実施するイベントを共同で開催することで、情報発信・相互交流を図っていく。

## **5 スタートアップの創出及び成長支援の推進**

### **(1) スタートアップ・エコシステムの充実**

#### **① スタートアップの創出に向けた支援**

スタートアップが創業時に必要な知識を学ぶ Kyoto Startup Challenge セミナーの開催、弁護士・公認会計士による専門家相談やベンチャーキャピタルによる壁打ち相談を通じ、創業前後の様々な課題へ対応するとともに、ディープテック等理系分野における研究成果の起業・事業化を促進するための研究者向け起業相談窓口の設置やコミュニティの形成、学生・若年層のアントレプレナーシップの醸成に関する取組みにより、スタートアップが創出しやすい環境を整備する。

#### **② スタートアップの成長ステージに即した支援**

グローバル展開を目指す京都のスタートアップと国内外の経営者・経営幹部・投資家とのマッチングを促進するとともに、海外エコシステムとの接続強化により、エコシステムのグローバル化を図る。また、京都の強みである大学の集積を活かし、ディープテック系スタートアップに特化したプログラムの実施や、コミュニティ形成等の支援により、成長ステージに即したエコシステムの拡充に取り組む。

#### **③ スタートアップに関する情報の発信**

スタートアップに関するニュースやイベント開催及び補助金やアクセラレーションプログラムの募集に関する情報を、Webサイト及びSNSを活用して発信するとともに、国内外のイベントへの参加により、京都のエコシステムの魅力を積極的に発信していく。

### **(2) 京都スタートアップ・エコシステム推進協議会の運営**

京都のスタートアップの現状や課題の共有を図るとともに、スタートアップ企業の成長ステージに応じた支援メニューの横断的な活用を通じて、京都のスタートアップ・エコシステム活性化を促す。

### **(3) 京阪神スタートアップ・エコシステムの連携**

京阪神の大学、支援機関、金融機関等が連携し、大学発スタートアップの連続した創出に取り組む「関西スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)」の活動により、より具体的に大阪、兵庫のスタートアップ・エコシステムコンソーシアムとの連携を強化することで、京都のスタートアップの成長速度を高めていく。